

平成24年度

深谷市環境エコ川柳優秀作品一覧

<特選>

眺めよう 星空ライブ 明かり消し

(江見^{えみ})

<準特選>

てくてくと 歩いて減らす CO2

(羽鳥 知津子)

お日様に 今日も頼むの 温水器

(田部井 光男)

<佳作>

エコライフ 団扇打ち水 夏の武器

(高田 進)

半世紀 戻ってみよう いい日本

(河田 操)

なでしこのシュート酷暑を蹴っ飛ばす

(荻原 文子)

雑草は 五分刈りにして 芝化する

(久保田 秀子)

ゴーヤの葉 陽射しさえぎり 心地良い

(石塚 愛子)

第5回深谷市環境エコ川柳審査総評

今年度も規定により特選1作品、準特選2作品、佳作5作品を次のとおり選出しました。

作品の内容は、ゴーヤ、朝顔、よしず、すだれなどを題材にした句が多く見られました。また、これらの類想句が多かったため、相打ちになった句も数多くありました。今年の特徴としては19音字や28音字、中には31音字、32音字の作品もありました。川柳は5, 7, 5の17音字の定型短詩です。人間や社会の風詠を謳う詩であります。基本はしっかり守って欲しいと思います。

審査基準は、独創的であることと、作品の完成度を重視して採点しました。

特選

○眺めよう 星空ライブ 明かり消し

この句は普通であれば「明かり消し星空ライブ眺めよう」としてしまふところですが、作者は上5と下5を入れ替えた。このことによって中7が生き生きと表現されました。この時注意しなければならないことは「し止め」です。多くの場合は、句を軽くしてしまうので敬遠されています。

準特選1

○てくてくと歩いて減らすCO₂

車から出る排気ガスを少しでも減らす為に、歩くことを心掛けている作者、自分のできることから取り組んでいる姿勢が見えます。「CO₂」は正確に発音すると、6音字ですので注意。

準特選2

○お日様に今日も頼むの温水器

この句は太陽熱に目をつけ、温水器に結びつけたところがよかった。上5から中7の流れがとても良い。

佳作 1

○エコライフ 扇子 打ち水 夏の武器

扇子、打ち水は今まで多くの人に詠み尽されてきましたが、この句は下5に「夏の武器」と詠んだことで、句が生き返った。

佳作 2

○半世紀 戻ってみよう いい日本

食べるにもこと欠く戦後から、飽食の時代へと移り変わった昭和、日本人の心も変ってしまった。もう一度あの頃に戻りたいと作者は願っている。万感の思いが下5に表現されている。

佳作 3

○なでしこの シュート 酷暑を蹴っ飛ばす

ロンドンオリンピックでの、なでしこジャパンの活躍に日本中が沸いた。その場面を据えた句。下5の「蹴っ飛ばす」は「吹っ飛ばす」の方が的確。

佳作 4

○雑草は五分刈りにして芝化する

「雑草を芝化する」の表現にアツパレ。この感性は作者独自のもの。川柳はこれでいいのです。

佳作 5

○ゴーヤの葉陽射しさえぎり心地良い

この句は上5の「ゴーヤの葉」の「葉」が余分でした。しかし下5の「心地良い」がそれを救った。

選者吟

○避難所に備えられてるポリ袋

青 二